令和８年度 徳島県立図書館協議会　次第

日　時：　令和８年９月２日（水）
　　午前１０時３０分から
場　所：　徳島県立図書館　集会室１

１　開　会

２　館長挨拶

３　委員自己紹介・職員紹介

４　議　事
（１）令和７年度事業実績について
（２）令和８年度事業について
（３）「徳島県立図書館サービス向上目標（第５期）」の推進状況について
（４）その他

５　閉　会

【配布資料】

資料１	令和８年度　徳島県立図書館年報（令和７年度事業実績）
資料２－１	令和８年度事業
資料２－２	調査・郷土担当関係
資料２－３	資料・児童担当関係
資料３	徳島県立図書館サービス向上目標（第５期）
参考	規則等

徳島県立図書館協議会委員名簿

令和８年９月２日現在

氏　名	職　名
石尾　和仁	阿波学会会長
梶﨑　愛華	公募委員
塩路　晶子	鳴門教育大学大学院 学校教育研究科教授
◎　杉山　悦子	四国大学文学部准教授
鈴木　綾子	徳島ペンクラブ副会長
○　中　洋子	徳島県読書振興協議会会長
橋村　百恵	徳島県公共図書館協議会理事 （美波町日和佐図書・資料館長）
前林　永子	徳島県高等学校PTA連合会副会長
松浦　和也	徳島県学校図書館協議会副会長 （木頭中学校長）
宮川　麻里奈	NHK徳島放送局長

50音順

(2)令和８年度事業について

資料２－１

令和８年度 実施行事

令和８年８月末現在

期　日	集　会　名	講師・出席者等	内　容　等	人数
４月 28 日	徳島県公共図書館協議会理事会	理事	令和７年度決算、令和８年度計画について	１９
５月５日	大人のためのスペシャルおはなし会	おはなし会ボランティア	大人を対象としたおはなし会	２３
５月 14 日	徳島県読書振興協議会正副会長会	正副会長	令和８年度読書振興大　会、理事会・総会について	７
６月５日	阿波学会理事会･評議員会	阿波学会役員	令和７年度決算、令和８年度計画について	２３
６月７日	初めての方のための読み聞かせ講座	講師： 渡邉　美恵 氏	絵本の読み聞かせについての講義とワークショップ	１８
６月 13 日	森絵都さんトークショー 「物語ができるまで」	講師： 森　絵都　氏	最新刊「デモクラシーのいろは」制作秘話などのトークショー	１５１
６月 20 日	大人のための朗読会	朗読会ボランティア	近代美術館の特別夜間開館に合わせて夜間に実施。文芸作品の朗読。	４５
６月 30 日	徳島県読書振興協議会理事会・総会・ブロック会	理事・会員	令和７年度決算、令和８年度計画、意見交換会	２８
７月 17 日	第２回阿波学会紀要編集委員会	阿波学会編集委員	「阿波学会紀要 66 号」	９
７月 18 日	第１回 徳島県図書館職員研修会	講師： 県立図書館職員	講義：「徳島県文化の森総合公園/とくしまデジタルアーカイブの使い方」 講義：「レファレンス入門-レファレンスサービスの基本とインターネット活用-」	７０
７月 29 日	徳島県読書振興協議会優良読書グループ選考委員会	会長・副会長	全国及び徳島県の優良読 書グループ推薦団体選考	９
８月２日	夏休み出前講座「まなぼうさい教室」	講師： 徳島県防災センター職員	地震など災害発生時のための防災に関する講義と「防災いす」の工作	１３
８月 11 日	こどもの図書館探検隊	児童担当	小学生対象。図書館の書庫や閲覧室などを案内	２０
８月 11 日	大人のための朗読会	朗読会ボランティア	文芸作品の朗読	２８
８月 22 日	世界体験祭り	ＪＩＣＡ徳島デスクと共催	海外の絵本の読み聞かせ、世界の国や遊びの紹介、物作りの	８１

令和８年度 行事予定

９月 25 日　　第２回徳島県図書館職員研修会
９月 30 日　　図書館職員相互訪問研修（徳島大学附属図書館）
11 月３日　　大人のためのおはなし会
10 月３日　　徳島県読書振興大会（美馬市）
11 月　　第３回徳島県図書館職員研修会
12 月 12 日　大人のための朗読会
２月 11 日　　大人のための朗読会
２月　　図書館大会
おはなし会ボランティア研修会・子どもの読書研修会、
徳島県公共図書館協議会研究・研修委員会

定例行事

○ おはなし会　毎月２回（季節のおはなし会含む）
赤ちゃんと楽しむおはなし会＆助産師さんとはなそう！　月１回
えいごのおはなし会、クリスマスおはなし会
○ まなびの森講演会（放送大学徳島学習センターと共催）
月１回いずれかの土曜日に開催

令和８年度　展示事業

○企画展

場所：１階 展示ギャラリー

期　　間	展　示　名
４月７日 ～ ５月 10 日	「どうも」県立図書館です！ ＜担当：全担当＞
５月 12 日 ～ ７月 20 日	「本で巡る、日本一周。」 ＜担当：資料＞
７月 22 日 ～ ９月 13 日	「図書委員が選ぶ、おいしい本」 ＜担当：企画＞
９月 15 日 ～11 月 15 日	「往来の記憶－徳島をつなぐ乗り物－」 ＜担当：郷土＞
11 月 17 日　～ １月 24 日	「雑誌の歴史と雑誌で見る歴史－創刊号と昭和・平成の出来事－」 ＜担当：調査＞
２月５日　～ ４月４日	「紙芝居特集（仮）」 ＜担当：児童＞

令和８年度　ミニ展示

令和８年８月末現在

ミニ展示コーナー（検索コーナー横）

期間	テーマ
3/20～4/15	新年度を新書で！
4/17～5/20	レンブラント生誕420年
5/12～6/12	旅人の足跡を辿る
6/13～7/12	森絵都さん寄贈資料
7/14～8/30	徳島県男女協調月間 パークテレコメディア紹介展
9/1～	自然災害に備えよう！

セカンドライフ応援コーナー

期間	テーマ
2/27～4/26	いきいき脳の本棚
4/28～6/21	短歌・俳句・川柳
6/23～8/30	楽しむ・備えるシニアのひとり暮らし
9/1～	認知症を知る

ブラウジングコーナー

期間	テーマ
4/17～4/30	追悼・東海林さだおさん
5/10～5/31	追悼・鈴木光司さん
5/15～5/31	追悼・佐藤愛子さん
6/13～7/20	旅人の足跡を辿る
6/30～7/12	追悼・美輪明宏さん
7/1～7/31	藍推進月間
7/17～7/26	知ってください。発達障がいのこと
7/22～9/23	近代美術館×図書館　浮世絵と怪談をもっと楽しもう！
8/4～8/30	マナーアップ啓発展

しごと応援コーナー

期間	テーマ
3/20～5/10	新生活
5/12～7/12	仕事術をみがく
7/14～9/16	働く人の健康と安全
9/18～11/29	お仕事小説

ブックトラックによるミニ展示

期間	テーマ
2/27～4/15	春－花も団子も－
4/17～6/17	○○歳の手習い
6/19～8/30	快適に夏を過ごす
9/1～10/14	旅日和

こどもの本コーナー

○児童・毎月の企画展示

期間	テーマ
4月	うさぎ
5月	おでかけ
6月	うちゅう
7月	うみ
8月	戦争・原爆
9月	台風・水害

○児童・ミニ展示

期間	テーマ
3/26-4/26	大きな本で見つける、小さな発見
3/26-4/19	あの子のきもち、わたしのきもち
3/26-4/19	レベル99への道！キミを強くする「攻略本」
4/21-5/17	子どもたちの読書のために
4/21-5/17	ことばがきみのはねになる
4/26-5/10	おかあさん
5/12-6/7	読み聞かせにどうでしょうか！
6/9-6/28	宇宙・星の図鑑
6/9-6/21	ひとあし早く夏の絵本
6/9-6/28	6/21は父の日　お父さんの本
6/23-7/22	うみの絵本（子供本コーナーから）
6/30-8/30	読書感想文の書き方
6/30-8/30	小学生（低・中・高学年用）読書感想文課題図書（館内閲覧）
7/8-7/26	追悼・林明子さん
7/9-8/30	地震・津波の本
7/12-8/30	工作・自由研究
7/23-8/16	8/11山の日にちなんで（登山・ハイキング・キャンプ）
8/18-9/16	水害・洪水への対処法
9/1-10/4	残暑・地球温暖化の本
9/1-9/16	雲・お天気の絵本
9/18-10/4	お月見の本

郷土資料コーナー

期間	テーマ
1/27～4/5	橋めぐり―吉野川を中心に―
3/3～4/30	活躍する徳島県人-2025年の出版物より-
5/1～5/31	峠あるき
6/2～6/30	城と戦国
7/1～7/31	阿波の染織
7/17～8/31	しらべよう！徳島
8/6～8/30	原田一美さんと徳島の児童文学
9/1～9/30	防災
9/15～11/15	往来の記憶－徳島をつなぐ乗り物

資料２－２

調査・郷土担当関係

１．調査相談(レファレンス)業務について

調査相談業務において、探究する人をサポートするため、来館・電話・文書・メールなどによる多岐にわたる内容の質問を受けており、令和７年度においては、８，１９７件の質問に応えた。特に郷土に関するものは、県外からの問い合わせも多く、内容も複雑なものが多い。地域資料の保存館としての役割がますます大きいものとなっている。また、レファレンス事例を厳選して「国立国会図書館レファレンス協同データベース」に登録し、同様のニーズに対応できるようにしている。

２．市町村立図書館へのレファレンス支援

市町村立図書館からもレファレンスを受け付けしており、令和７年度は２８件の問い合わせがあった。また、令和７年９月には、阿波市立図書館の職員研修で郷土担当職員が、郷土資料レファレンスについての講義を行った。徳島県図書館職員研修会においても、令和８年１月に「郷土のレファレンス」、令和８年７月に「レファレンスの基本」と題して、レファレンスサービスについての講義を調査・郷土担当職員が行った。

３．オンライン・データベースについて

「朝日クロスサーチ」など、８種類の有料オンライン・データベースを契約し、レファレンスに活用している。また、データベースの利用促進のため令和８年１月３１日に、農山漁村文化協会中国四国支部の長谷川貴央氏を講師に招き、ルーラル電子図書館活用講座「はじめての家庭菜園」を開催し２０名の参加があった。

４．電子書籍について

（１）　利用統計

	タイトル数(累計)	閲覧件数
平成２９・３０年度	４９２	１，３４４
令和元年度	９５８	２，９１８
令和２年度	１，９５９	９，３５８
令和３年度	２，５１８	１０，２３２
令和４年度	３，０８７	１４，１８４
令和５年度	３，５４９	１６，３６１
令和６年度	４，２０４	１８，５０２
令和７年度	４，６４６	１９，２５８
令和８年７月末現在	４，７８８	１０，７３０

＊平成２９年度２月～３月は、試験的公開

電子書籍閲覧サービスは、令和２年度以降において、タイトル数の増加や県立学校へのＩＤ・パスワード配布などの要因により、閲覧件数が順調に伸びている。また、オーディオブックや児童向けのタイトルを増やすなどコンテンツの充実を図り、令和７年度末には、電子書籍数（４，６４６点)，閲覧件数(１９，２５８件)となった。

〈参考〉電子出版制作・流通協議会(電流協)調査

全国的な公共図書館における電子書籍導入状況について、令和８年７月１日現在、

電子図書館導入自治体数　６１３　　導入率　３４．３％

（都道府県立　　導入数　３４　　導入率　７２．３％）

（２）　関連事業について

①ＧＩＧＡスクール構想における電子書籍利用

令和２年７月から、教育委員会と連携している「県立学校・電子図書館」事業を継続しており、県立学校の生徒・教職員に、サービス利用のためのＩＤ・パスワードを提供し、学力向上と家庭学習の支援に努めている。

②「徳島県立図書館電子書籍活用モデル事業」の開始

令和６年９月より、電子書籍未導入自治体等の小中学校に最寄りの図書館を通じてＩＤを発行し、学校や家庭で利用してもらう「徳島県立図書館電子書籍活用モデル事業」を開始した。

令和６年度実施　　美波町の小中学校　　令和７年度実施　　牟岐小学校

③電子書籍活用講座(令和８年８月６日)

令和８年度　高等学校図書委員研修会において、電子書籍活用講座を行い、全文検索などの便利な機能を紹介した。(参加者３８名)

（３）今後の取り組みについて

「徳島県立図書館 電子書籍活用モデル事業」で、小中学生が学校や家庭で電子書籍を活用できる機会が増えており、毎月の利用統計においても、閲覧上位に児童向けのタイトルが占める割合が多くなっている。今後も児童生徒のみならず、全世代に活用していただけるように、効果的な広報を行うとともに、利用者のニーズにそった電子書籍の収集を行っていきたい。

５．デジタルアーカイブについて

令和２年度より、「徳島県文化の森総合公園／とくしまデジタルアーカイブ」(文化の森各館連携)で資料を公開しており、令和７年度には、当館から１４６点の資料を追加公開した。

＊令和８年度７月現在の公開コンテンツ(累計)

・絵図／地図　５８点　　・阿波国文庫　１９５点　　・文書／典籍　３点

・絵葉書　　５１１点　　・和古書　　２２６点　　(合計９９３点)

貴重な地域資料などをデジタル化し、公開することで利活用される機会も増え、特別利用の申請が個人のほかに、放送局・文化施設・企業などさまざまな機関から寄せられている。資料保存と利活用の両立を図りながら、今後も充実したコンテンツの提供を続けていきたい。

資料２－３

資料･児童担当関係

１．子どもの読書活動支援について

（１）子どもの本の充実

子どもの本の資料センター的機能を図るため、多様な資料の収集に努めている。今年度も「知の拠点」事業における子どもの本充実費１６５万円を活用し、翻訳の外国語絵本・童話に加え、日本語以外の言語を母国語とする児童や保護者にも読み聞かせ等に使用してもらえるよう、海外の秀作絵本や日本の絵本作品の翻訳絵本等（英語、中国語、ベトナム語ほか）の購入を計画している。

また、新たな読書テーマの発見につながる資料展示やパスファインダーの作成にも取り組んでいる。

（２）主な実施イベント

①にちようびのおはなし会（毎月第2･4日曜日実施）

②赤ちゃんとたのしむおはなし会・助産師さんと話そう！（毎月第2木曜日）

③「子どもの読書研修会・おはなし会ボランティア研修会」（令和８年３月８日実施）

④「初めての方の読み聞かせ講座」（令和８年６月７日実施）

（３）外部団体との連携

①学校

県内小・中学校で調べ学習の際に必要とされる図書を、市町村立図書館を通じて貸出している。また、特別支援学校に職員が訪問し、図書館業務に関する相談とサービスの案内を年に一度行っている。その他、遠足や見学の受入（R７:17校、1,090人）も積極的に行っている。

令和８年８月２６日に、阿波高等学校からの依頼により、生徒向けの「読み聞かせ実践講習」の講師を児童担当職員が務めた。

②読み聞かせ団体等

学校や施設において読み聞かせ活動を行っている団体等に、紙芝居舞台やエプロンシアターなどの備品を貸出している。

③企業との連携

昨年１２月には、日亜化学工業からの依頼により、育児イベント「絵本を使って子どもと一緒に遊んでみよう！」の講師を児童担当職員らが務めた。

２．読書バリアフリーについて

令和元年６月に読書バリアフリー法（「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」）が公布・施行され、県においても令和３年７月「徳島県読書バリアフリー推進計画」が策定された。

当館における障がい者サービスや多文化サービスの取り組みとしては、朗読ＣＤや大活字本、洋書などの購入のほか、各種手帳の交付を受けている方などに郵送貸出を実施すると共に、市町村立図書館を通じても必要とする利用者に当館所蔵のデイジー図書を利用してもらえるよう、デイジー図書の協力貸出も行っている。

現在は、こどもの本コーナーに、マルチメディアデイジー、LL ブック、点字資料、さわる絵本、大活字本などの資料を集めたバリアフリーコーナーを設置し、バリアフリー図書を身近なものと感じ、手に取ってもらえるような工夫を行っている。令和８年４月にバリアフリーコーナーの拡張を行った。

また、令和５年１月から稼働した現行の図書館システムでは、インターネットから利用者登録を行うことが可能となっており、ネット上で利用者登録が完了すれば、来館することなく当館の電子書籍閲覧サービス等を利用できるようになっている。

資料　3

徳島県立図書館サービス向上目標（第5期）

～つなげる、つながる県立図書館サービス～

令和8年３月

徳島県立図書館では、平成18年度に第1期「徳島県立図書館サービス向上目標」を策定し、以後5年ごとに目標の改正を行い、サービス向上に取り組んでまいりました。

この度策定する第5期のサービス向上目標は、新型コロナウイルスの流行により変化した生活様式がある程度定着したことをふまえ、「新たな環境下の県立図書館サービス」として策定した第4期目標の根幹を引継ぐこととします。さらに、令和9年度に迎える開館110周年を念頭に、本県の中核図書館として、人と資料をつなぐだけでなく、市町村立図書館や他機関と連携したサービスの一層の充実をめざして数値目標を設定し、県民のニーズや課題に応えられるようなサービスを展開します。

県立図書館の役割・運営方針

徳島県の図書館ネットワークの中核として、すべての地域の県民のニーズや課題に生涯を通して応えていくとともに、県全体としての図書館サービスの向上を図ります。

目指す図書館の姿

1	2	3	4
人と資料をつなぐ図書館	探究する人をサポートする図書館	徳島を知って未来を創る人の図書館	読書を愉しみ心を育む人の図書館

Ⅰ　人と資料をつなぐ図書館

当館では、県内公共図書館等への協力貸出や図書館間の相互貸借の中心を担い、すべての県民が居住地に関わらず同じような図書館サービスを利用できるよう図っています。また、「電子書籍閲覧サービス」の拡充、「バーチャル図書館」の構築といった非来館型サービスを開始しているほか、県や市町村、大学図書館等と連携・協力することにより資料の紹介、利用を促進しています。今後も他の図書館等との協力やICTサービスの充実によりすべての地域の県民に図書館資料を提供していきます。

（1）すべての地域の県民への資料提供

すべての地域の県民への資料提供を行うため、昭和 25 年から移動図書館車「やまなみ号」を県下に巡回させ、市町村での図書館設置が進んできた昭和 63 年からは、各図書館からの予約資料を搬送しています。これからも、全県民が利用できるサービスとして、市町村立図書館と図書館未設置の教育委員会への協力貸出を充実させるとともに、「電子書籍閲覧サービス」の普及と充実を図ります。

（2）「とくしまネットワーク図書館」の円滑な運用と維持

「とくしまネットワーク図書館」システムでは、利用者は県立図書館の本をインターネットで予約し、市町村立図書館を通して借りることができ、各図書館は他館から、資料を借り受けすることができます。今後も、「とくしまネットワーク図書館」システムを円滑に運用し維持することで、すべての利用者に必要な資料を提供できるように努めます。

（3）県内市町村立図書館等への支援

県内公共図書館の発展と県民が居住地に関わらずサービスを受けられるようにするため、市町村立図書館等との連携を深め、図書館資料の搬送を維持します。また、県内図書館職員の資質・能力の向上を図るため、徳島県公共図書館協議会等において効果的な研修を実施し、よりよい図書館サービスの継続に向けた情報共有や検討を行います。

（4）他機関・団体との連携協力

県や市町村、大学図書館および徳島県読書振興協議会等の読書ボランティア団体等と、共催行事や展示等を通じて連携・協力し、図書館および図書館資料の利用を促進します。また、図書館施設の利用受付や図書館見学等のサービスを通して図書館について周知していきます。

数値目標	
5冊以上／年	県内公共図書館の県民一人当たり貸出冊数
5 位以内／47都道府県	県民一人当たりの来館回数の全国順位
3万冊以上／年	ネットワーク図書館システムを利用した市町村立図書館等（学校図書館・議会図書室含む）への協力貸出・相互貸借冊数
30万件以上／年	HPアクセス数
25回以上／年	展示、講座等の共催・連携事業数

2 探究する人をサポートする図書館

当館のレファレンスでは、司書による調査・相談はもとより、各種データベースを備え、Webではパスファインダー（調べ方案内）を公開しています。事典や図鑑類は電子書籍でも提供しており、今後も、県民がこれらを十分活用して、深い探究を行えるよう、レファレンス・ツールの充実に努め、サポートしていきます。

（1）レファレンス機能の強化

社会の複雑多様化に対応した的確なレファレンスサービスを行うため、各図書館職員の研修に努め、様々な分野で最新の動向を把握し、得た知識を共有して専門性やレファレンス技能を向上させるとともに、新しい分野も含め、多種多様な資料を充実させていきます。

（2）使いやすいレファレンス・ツールの提供

調べたい事項の解決に、利用者自身で、より多くの参考になる本や文献に出会うことができるよう、当館での調査・相談事例のWeb公開を推進するとともに、関心の高いテーマのパスファインダーやテーマ一覧を充実させます。

（3）他機関と連携したレファレンス

レファレンスサービスの質を高めるため、国立国会図書館の協力レファレンスをはじめ、県内外の図書館や専門機関と一層連携して、各館が備える機能を相互に活用します。とりわけ文化の森に集まる博物館等の各施設とは、調査研究やコレクション、レファレンス事例といった情報を共有しながら、より専門的な調査に対応できるよう努めます。

（4）仕事や暮らしの課題解決を支援

ライフステージの各場面に対応して設定した「しごと」、「子育て」、「セカンドライフ」、「医療・健康」のコーナーで、暮らしに役立つ様々な資料や情報を時宜に応じて提供し、また各種データベースや電子書籍等オンラインコンテンツの充実により課題解決を支援します。

数値目標	
60件以上／年	レファレンス事例 Web 公開件数
14,000 件以上／年	電子書籍閲覧件数
30冊以上／年	「これは使える！レファレンスブック案内」公開冊数
40件以上／年	行政支援件数

3 徳島を知って、未来を創る人の図書館

都道府県立図書館には、その地域の郷土資料センター的役割があり、当館では歴史的資料から現在の地域社会を映す資料まで満遍なく収集・保存しています。今後も、県民がこれらを十分活用して徳島への理解を深め、歴史・文化の継承や、これからのよりよい地域社会づくりに取り組めるよう、資料を充実させ、効果的に紹介して支援していきます。

(1) 郷土資料の収集・保存・活用・発信

徳島県や県出身者に関する資料をはじめ、行政資料、広報誌、地域情報誌等を網羅的に収集・保存します。また、電子行政資料の情報収集にも努めます。歴史的に貴重な資料はデジタル化し、アーカイブで公開するなど、郷土資料を適切に保存・活用することで県民の郷土への理解を高めるとともに、県外へも徳島の魅力を発信します。

(2) 郷土関係レファレンス・ツールの強化

司書のレファレンス技術の向上に努めます。また、所蔵する豊富な郷土資料を利用し、当館独自のデータベースを構築、郷土に関するパスファインダーの作成、レファレンス事例を蓄積することなどにより、利用者の郷土に関する調査を支援します。

(3) 徳島に関する調査研究の推進

地域に関する調査研究に対して、調査・相談や資料の提供を通じて活動を支援し、研究成果を当館で県民の利用に供するなどして、学術文化の振興に努めます。特に、70年以上の歴史がある「阿波学会」との共催で県内市町村の総合学術調査を実施し、多岐にわたる調査結果を『阿波学会紀要』としてまとめることにより、地域資源の再発見へとつなげていきます。

(4) 地域の課題解決を支援

地域の課題解決に取り組む人や団体、行政機関に対して、積極的に資料の提供やレファレンスサービスを行い、その活動や業務を支援します。また、こうした活動等に協調して、資料展示や県政情報の提供を充実させるなど、より多くの県民が関心を高め、課題解決に関わっていきやすくなるよう啓発に努めます。

数値目標	
3,700 点以上／年	郷土資料収集点数
350人以上／年	郷土資料のマイクロフィルム・デジタル画像閲覧者数
400件以上／年	郷土レファレンス件数

4 読書を愉しみ心を育む人の図書館

当館は、幅広く新鮮な蔵書構成や、子どもの読書環境の充実などに留意して選書に努めてきました。これからも県民ひとりひとりの様々なニーズに応えられるよう多様なテーマの資料を収集するとともに、生涯を通じた「知る」「学ぶ」場としての環境を整えることにより、県民の豊かな読書活動を応援します。

(1) 多様な資料の収集と紹介

県民が読書そのものを愉しむとともに、それぞれが抱く興味関心に応じて生涯学習を深めていけるよう、豊富な内容の資料を、入門書から専門書まで幅広く、なおかつ図書・雑誌、視聴覚資料、電子書籍といった様々な形態で収集・提供します。また、多様なテーマでの資料展示や講演会等のイベントにより、新たな読書テーマの発見や知的好奇心の満足につながる提案を行い、読書の喜びを高めます。

(2) 子どもの本の網羅的な収集

当館は、昭和 40 年代から子どもの読書推進のため、乳幼児からヤングアダルト世代までそれぞれが楽しめる絵本・童話・知識の本、さらには児童文学の研究書まで、網羅的に収集した結果、子どもが楽しめるだけでなく、保護者や図書館・教育関係者等にも役立つ 20 万点に上る「子どもの本の資料センター」に成長しています。今後も引き続きこの役割を果たしていけるよう、年間児童書出版点数の 8 割以上の収集を目指していきます。

(3) 子どもの読書環境整備と学校図書館との連携協力

おはなし会などを通じて子どもたちが読書に親しむ環境をつくるとともに、児童・生徒の図書館見学を積極的に受け入れ、図書館の魅力を伝えます。また、読みたい本との出会いを増やすパスファインダーやブックリストを作成・更新し、Webや資料展示で紹介します。さらに、子どもたちの自主的な読書活動を支援するため、電子書籍を含む調べ学習用図書の充実と、協力貸出・協力レファレンス（※）による学校図書館との連携に努めます。

※県立図書館が市町村立図書館等に対して行う貸出やレファレンスサービス

(4) 読書バリアフリー環境整備の推進

障がいの有無に関わらず県民が読書活動を行えるよう、大活字本や録音図書、電子書籍といった多様な形態の資料を収集し、来館が困難な障がい者への郵送貸出サービスなどを行います。また、日本語が母語でない人の読書活動を支援するため、様々な言語による資料の収集・提供に努めます。さらに、こうした資料やサービスを誰もが利用しやすいよう、わかりやすい館内表示や広報を行います。

数値目標	
85回以上／年	資料紹介展示回数
3,500点以上／年	児童資料の年間購入点数
1,000 人以上／年	遠足など図書館見学受け入れ人数
450点以上／年	アクセシブルな資料（※）収集点数

※この数値目標に掲げるアクセシブルな資料とは、大活字本、デイジー図書、マルチメディアデイジー図書、朗読 CD、LL ブック（簡潔な文とイラストなどを使い読みやすく書かれた本）、点字付き絵本、オーディオブック（電子書籍）、外国語図書を指す。